マルチクライアント方式

サマリー

調 査 報 告 書

［２０２４年版　感光体マーケット総覧］

『業界変革・再編時代における

感光体市場の総合分析』

＝感光体、素管、塗布材料の市場動向を詳細分析＝

＜日本メーカー各社の 2023 年生産本数は減少傾向で推移＞
上記画像　左：大分キヤノンマテリアル、右：京セラ滋賀八日市工場

＜REMAX 2023 では A3 サイズの感光体が多数展示＞

２０２４年２月

日・中・米・欧の市場調査
株式会社 データ・サプライ

〈調査概要〉

Ⅰ．調査テーマ

［２０２４年版　感光体マーケット総覧］

『業界変革・再編時代における感光体市場の総合分析』

＝感光体、素管、塗布材料の市場動向を詳細分析＝

Ⅱ．調査主旨

プリンティング業界の 2023 年を振り返ると、年前半時点においては本体、消耗品ともに比較的安定した出荷で推移していたが、夏場から年後半にかけて主要メーカーが一斉に過剰在庫の解消に動いたことで業界全体の出荷が大きく落ち込むこととなった。在庫解消にはまだ時間を要し、2024 年 4 月から同年後半にかけて市場は正常化していくとの見方が強い。

弊社の様々なレポートで述べてきた通り、2020 年以降、オフィスにおけるプリントボリューム（PV）は 2019 年比 80～90%と大きく落ち込んでおり、今後も以前の状態には戻ることは難しい。そして、感光体需要の 80%以上はサプライ用（市場に設置された機器の消耗品用）であるため、PV の減少は感光体需要の減少に直結する。では、PV そして感光体の本数が今後、加速度的に減少するかというとそうとばかりは言えない。請求書の電子化などオフィスにおけるペーパーレス化は確かに進んでいるが、複写機・複合機（MFP）やレーザープリンタにおける出力の相当量を占めるとされる参照資料（業務のために参照する資料）としての紙は視認性・一覧性などでデジタルデバイスに対する優位性を持っており、根強い需要が今後も続く可能性が高いからである。

もちろん業界の全体需要が以前の水準には戻らない以上、複合機・プリンタメーカー及び感光体メーカーが様々な変化に対応していく必要があることは当然である。具体的には、感光体内製メーカーにおいては BCP（事業継続計画）の観点から、いつまで内製一本で生産していくのか、外販の可能性はないのかなどの議論が始まっており、専業メーカーにおいても内製分の一部取り込みは収益維持の観点から大きな意味を持つことになる。さらなる市場縮小を見据えて、マシンメーカー同士の開発・生産統合など業界再編の動きも進み始めており、これらの動きが感光体市場にも様々な影響を与えることになる。中国の低価格メーカーが大きなシェアを占める感光体サードパーティ市場においても、純正品市場の縮小に伴いサードパーティ製品の需要が頭打ちになっていくことが想定され、その先には中国企業の淘汰が始まることも予想される。

極めて厳しい市場環境にさらされている感光体市場であるが、感光体が印刷物の画質を左右する電子写真プロセスの最重要パーツの一つである点は変わらない。これまでも繰り返し述べてきた通り、最終的には品質とコストを両立できる総合力を持ったメーカーが生き残ると考える。

「2024 年版感光体マーケット総覧」は、シリーズ第 34 回目の刊行となります。感光体メーカーのみならず、素管メーカー、材料メーカーを幅広くリサーチしました。本レポートをご利用いただく関係各位におかれましては、事業再発展の一助となることを望みます。

Ⅲ．調査対象品目及び調査対象先

１．調査対象品目

１）感光体

- ＯＰＣ感光体
- Ｓｅ系感光体
- ａ-Ｓｉ感光体

２）感光体アルミ素管　　３）塗布材料

２．調査対象先

１）感光体メーカー（国内 9 社、海外 18 社）　２）感光体素管の押出・引抜・切削メーカー（国内 9 社、海外 10 社）
３）感光体塗布材料メーカー（CTL/CGL/UCL/OCL）（国内 15 社、海外 4 社）
４）ハードメーカー（MFP/LBP/PP）（国内 10 社、海外 10 社以上）

Ⅳ．調査範囲及び調査方法

１．調査範囲：調査対象範囲は、２０２１年～２０２７年とする。また、対象範囲は日本、北米、欧州、韓国、中国、その他地域とする。
２．調査方法：１）取材対象メーカーへの面談調査（オンライン面談含む）
２）公開されている文献、資料、統計等の分析及び調査　３）弊社に蓄積されているデータの活用

Ⅴ．調査形態、調査期間、他

１．調査形態：本調査はマルチクライアント方式による調査である。
２．調査期間：２０２４年１月～２月
３．調査報告刊行日：２０２４年２月２６日
４．提出報告書：ＰＤＦ版
５．１社当りの参加費用：日本語版 …… ￥５００,０００－（消費税は別途）（英語版 …… ＄５,２００－）
セット価格（日本語版+英語版） ……￥７００,０００－（消費税は別途）
６．調査担当：山本　幸男／吉田　晃介／針生　正史
（TEL：03-3831-9201、FAX：03-3831-9204、E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp）　ホームページ：http//:www.datasupply.jp/

《目　次》

[調査結果の要旨]
A．分析編
A－１．全世界での感光体生産動向 …… 1
１．日本/海外メーカー別全体生産本数・生産金額推移（２０２１年～２０２７年） …… 1
２．国別のメーカー生産本数推移（２０１４年～２０２７年） …… 2
３．全世界の種類別用途別生産本数推移(２０２１年～２０２７年) …… 3
４．出荷用途別（ハード本体出荷用/サプライ用）感光体生産本数（２０２１年～２０２７年） …… 5
１）全体／２）サードパーティ比率(2021 年～2023 年)
５．世界のベスト 10（生産本数シェア）（２０２２年～２０２４年） …… 7
１）全体／２）OEM 向け／３）サードパーティ向け
６．地域別生産動向 …… １０
１）地域別種類別生産本数／２）地域別用途別生産本数
７．メーカー別生産動向 …… １２
１）全世界メーカー別生産本数／２）地域別メーカー別生産本数／
３）地域別メーカー別種類別生産本数／４）地域別メーカー別用途別生産本数
８．OEM とサードパーティの生産本数 …… ２４
８－１．ワールドワイド（２０２３年） …… ２４
８－２．メーカー別 OEM 量とサードパーティ量（２０２２年～２０２４年） …… ２５
９．感光体用素管の生産動向 …… ２９
10．日本メーカー各社の塗布材料使用状況 …… ３０
A－２．感光体の生産拠点 …… ３１
１．日本メーカーの地域別生産拠点 …… ３１
１）全体／２）工場・住所一覧
２．海外メーカーの生産拠点一覧 …… ３４

B．感光体市場編

B－１．日本メーカーの動向（２０２１年～２０２７年） …… ３７
B－１－１．日本メーカーの集計 …… ３７
１．日本メーカーの種類別用途別生産動向 …… ３７
１）生産本数/生産金額の推移（２０２１年～２０２７年）／
２）種類別/用途別生産本数の推移（２０２１年～２０２７年）／３）25 年間の生産量推移
２．種類別地域別メーカー別用途別生産動向（２０２１年～２０２７年） …… ４３
１）全種類／２）ＯＰＣ／３）Ｓｅ系／４）ａ－Ｓｉ
３．直径別用途別種類別生産本数（２０２３年） …… ５１
４．直径別メーカー別生産動向（２０２３年） …… ５２
１）生産本数（MFP/PP 用 OPC、MFP/PP 用 a－Si、プリンタ/FAX 用 OPC、プリンタ/FAX 用 a－Si／
２）生産金額
５．メーカー別直径別生産本数及び生産金額構成比（２０２３年） …… ５８
６．直径別メーカー別生産本数及び生産金額の状況（２０２３年） …… ６２
１）２０φ／２）２４φ／３）３０φ／４）４０φ／５）４７φ／６）５０φ／７）６０φ／８）６５φ／
９）８０φ／10）８４φ／11）１００φ／12）１２０φ／13）１８０φ／14）２１０φ／15）２４０φ
７．長さ別メーカー別生産動向（２０２３年） …… ７７
１）生産本数／２）生産金額
８．直径別長さ別生産動向（２０２３年） …… ７９
１）生産本数／２）生産金額／３）長さ別直径別生産本数及び生産金額構成比（Ａ４～Ａ０）
９．日本メーカーの感光体の用途別種類別地域別生産状況（２０２２年～２０２４年） …… ８６
10．ロングライフ感光体（Ａ３）の開発動向 …… ８７
11．負帯電/正帯電別生産本数（２０２３年） …… ８７
12．ハードメーカーと感光体メーカーの主要供給関係（２０２３年） …… ８８
１）OEM 納入量／２）MFP/PP メーカーと感光体メーカーの主要供給関係
３）レーザー／LED プリンタ・FAX メーカーと感光体メーカーの主要供給関係

Ｂ－１－２．日本の感光体メーカー個票 ……９１

■共通調査項目■
全体生産量・生産金額（２０２１年～２０２７年予測）
・地域別拠点別種類別用途別生産量（国内･海外）の現状と今後（２０２１年～２０２７年予測）　・生産拠点の動向（設備投資、製造ラインの増減と今後の拠点）　・直径別用途別生産量　・直径別長さ別生産量と生産金額、単価（２０２３年実績）
・直径別長さ別製品ラインアップ状況　・正帯電／負帯電別生産量　・ロングライフ感光体の開発と今後　・外注／外販の拡大戦略　・小径化／大径化の状況　・塗布層と塗布材料（ＵＣＬ、ＣＧＬ、ＣＴＬ、ＯＣＬ）の現状と開発及び購入状況
・塗布方法　・純正メーカーのサードパーティ製感光体への対応策　・純正品（ＯＥＭ）とサードパーティ製品の生産比率
・供給先別納入量（２０２２年～２０２４年見込）　・ワールドワイドの生産拠点一覧　・25 年のあゆみ（2003～2023 年実績、2024～2027 年予測）　・ＳＤＧｓへの取り組み（規制対応、リサイクル、省エネ／省人化 etc）

キヤノン ／リコー／ 富士フイルムビジネスイノベーション ／ コニカミノルタ ／ 京セラグループ（京セラ/京セラドキュメントソリューションズ）／ 三菱ケミカル ／ 富士電機 ／ シャープ

Ｂ－２．海外メーカーの動向（２０２１年～２０２７年） ……１８５
Ｂ－２－１．海外メーカーの集計 ……１８５
１．海外メーカーの種類別用途別生産量 ……１８５
１）生産本数/生産金額の推移（２０２１年～２０２７年）
２）種類別/用途別生産本数の推移（２０２１年～２０２７年）
２．中国メーカーの感光体生産量 ……１８７
３．国別の感光体生産量の成長率 ……１８８
Ｂ－２－２．海外の感光体メーカー個票 ……１８９

APS Photoconductor (Shanghai)（中国）／Guangzhou A&G Optoelectronics Technology（中国）／HG Technologies（中国）／Huaian Gantech Opto-Electronics（中国）／Lexmark International（米国）／Suzhou Goldengreen Technologies（中国）／Xerox Corporation（米国）／その他メーカー（米国１社、中国６社、韓国２社、インド１社、バングラデシュ１社）

Ｃ．感光体素管市場編
Ⅰ．全体動向 ……２１３
１．感光体業界（素管、伸管、加工、塗布）のエントリー概要 ……２１３
１）工程別参入動向 ……２１３
２）アルミ素管メーカーと加工メーカーの主要取引関係 ……２１４
３）アルミ素管メーカーから塗布メーカー（感光体メーカー）への供給関係 ……２１５
（アルミ素管メーカーと感光体メーカーの主要動向図）
２．全世界での感光体素管生産量（２０２１年～２０２７年） ……２１８
３．日本の感光体素管メーカー別生産量推移（２０２１年～２０２７年） ……２１９
４．素管メーカー別直径別長さ別生産量 ……２２０
５．感光体メーカーへの供給量（２０２３年） ……２２１
１）全体／２）ＯＰＣ／３）ａ－Ｓｉ

Ⅱ．感光体素管メーカーの個別動向 ……２２４

■共通調査項目■
地域別（拠点別）生産量（国内・海外）
・種類別／直径別（２０φ～２６０φ）／用途別／長さ別（Ａ４～Ａ０）生産量　・無切削／切削管の生産量
・感光体メーカーの生産拠点別納入量一覧（全世界）　・カラー用感光体への対応策（振れ、真円度、表面粗度、他）
・加工／伸管メーカーとの関係　・生産技術動向（切削管、無切削管）　・価格動向、採算性　・生産拠点の現状と今後

レゾナック（旧　昭和電工）／UACJ 押出加工／日軽金アクト

Ｄ．塗布材料市場編
１．全体概要 ……２３９
２．ＣＴＬ ……２４０
２－１．バインダー樹脂：１）全世界の市場（２０２１年～２０２５年）（全体概要／参入メーカー／材料別特徴／価格）／２）バインダー樹脂の主要供給関係（国内）
２－２．ＣＴＭ：１）全世界の市場（２０２３年）／２）メーカーシェア（内製メーカーの出荷量／ＣＴＭメーカーの出荷量）／３）ＣＴＭの種類／４）ＣＴＭの主要供給関係
３．ＣＧＬ ……２４５
３－１．バインダー樹脂／３－２．ＣＧＭ
４．ＵＣＬ ……２４５
５．ＯＣＬ ……２４６

Ｅ．感光体別直径別機種一覧（２０２０年～２０２４年）
１．ＭＦＰの感光体別機種一覧 ……２４７
２．レーザー／ＬＥＤプリンタの感光体別機種一覧 ……２５４
３．プロダクションプリンタの感光体別機種一覧 ……２６２

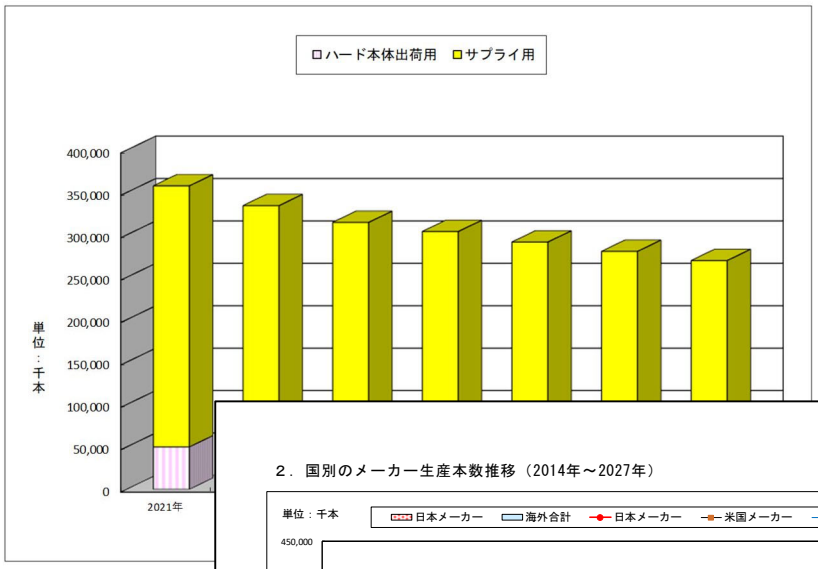
サンプルページ

「分析編」より抜粋

※実際のレポートにはコメントが入っています。

4．出荷用途別（ハード本体出荷用／サプライ用）感光体生産本数（2021年～2027年）

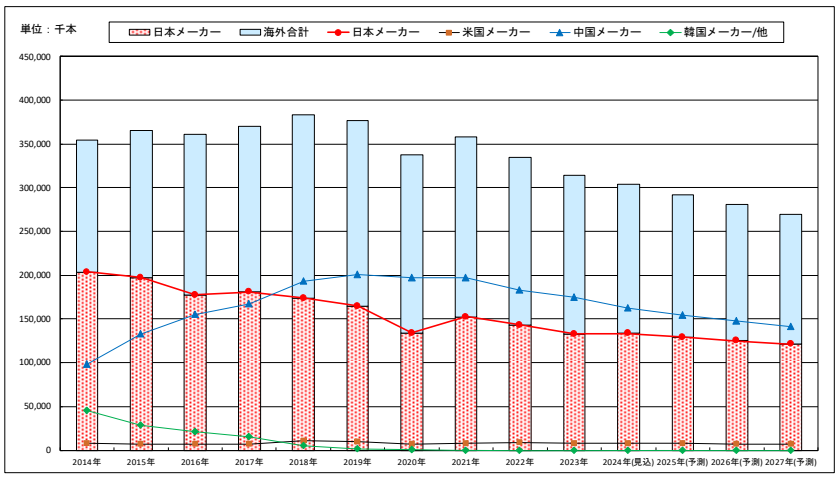
1）全体



年	2021年	%	2
ハード本体出荷用			
対前年比			
サプライ用			
対前年比			
合計			
対前年比			

2023年における出荷用途別の感光体
95%の2億6,532万2千本。「ハード本体
リューム減少を背景に昨年からさらに減
2024年以降については、「ハード本体
光体の長寿命による交換頻度の減少に

2．国別のメーカー生産本数推移（2014年～2027年）



単位：千本

年	2014年	%	2015年	%	2016年	%	2017年	%	2018年	%	2019年	%	2020年	%
日本メーカー														
対前年比														
海外メーカー 米国														
対前年比														
中国														
対前年比														
韓国/他														
対前年比														
小計														
対前年比														
合計														
対前年比														

年	2021年	%	2022年	%	2023年	%	2024年(見込)	%	2025年(予測)	%	2026年(予測)	%	2027年(予測)	%
日本メーカー														
対前年比														
海外メーカー 米国														
対前年比														
中国														
対前年比														
韓国/他														
対前年比														
小計														
対前年比														
合計														
対前年比														

サンプルページ

「分析編」と「感光体市場編」より抜粋

※実際のレポートには実数やコメントが入っています。

１２．ハードメーカーと感光体メーカーの主要供給関係（２０２３年）

１）OEM納入量

（単位：千本）

供給先＼感光体メーカー	キヤノン	リコー	富士フイルムBI	コニカミノルタ	京セラ	京セラDS	三菱ケミカル	富士電機	シャープ	その他	計	%
キヤノン												
リコー												
富士フイルムBI（Xerox分含む）												
コニカミノルタ												
京セラDS												
シャープ												
東芝テック												
OKI												
ブラザー工業												
HPPK												
Lexmark												
Pantum												
Avision												
その他（中国メーカー他）												
計												
%												

注）HPPK（HP Printing Korea）

①キヤノンは全て自社エンジン向け（HPブランド向け含
②リコーは自社向け及び東芝テック向け（A3モノクロ50-
③富士フイルムビジネスイノベーションは自社向け及び
④コニカミノルタは自社向け及び富士フイルムBIの高速
⑤京セラは京セラDS向け及び富士フイルムBIの連続紙
⑥京セラDSは自社及びブラザー工業向けがメイン。その
⑦三菱ケミカルは富士フイルムBI、OKI、HPPK、その他
⑧富士電機はブラザー工業向けがメイン。その他にコニ
⑨シャープは全て自社向け。
⑩Xeroxは自社向け（富士フイルムBIからOEM供給を受
⑪Lexmarkは自社向け。
⑫中国HGはHPPKの低速機向け。
⑬中国A&GはPantumの低速機向け。
⑭中国APSはDeliのモノクロプリンタ向け。

２）地域別メーカー別生産本数

単位：千本

		2021年	%	2022年	%	2023年	%	2024年（見込）	%	2025年（予測）	%	2026年（予測）	%	2027年（予測）	%
日本	キヤノン														
	対前年比														
	リコー														
	対前年比														
	富士フイルムビジネスイノベーション														
	対前年比														
	コニカミノルタ														
	対前年比														
	京セラ														
	対前年比														
	三菱ケミカル														
	対前年比														
	シャープ														
	対前年比														
北米	キヤノンバージニア														
	対前年比														
中国	キヤノン大連														
	対前年比														
	富士電機（深圳）														
	対前年比														
	京セラドキュメントテクノロジー（東莞）														
	対前年比														
その他	三菱ケミカルインフォニクス（シンガポール）														
	対前年比														
	ビナエムシーインフォニクス（ベトナム）														
	対前年比														
	山梨電子タイランド（タイ）														
	対前年比														
日本メーカー合計															
	対前年比														
北米	Lexmark International														
	対前年比														
欧州	Xerox Manufacturing (Nederland BV) (オランダ)														
	対前年比														
中国	APS Photoconductor (Shanghai)														
	対前年比														
	Guangzhou A&G Optoelectronics Technology														
	対前年比														
	HG Technologies														
	対前年比														
	Hunian Gantech Opto-Electronics														
	対前年比														
	Suzhou Goldengreen Technologies														
	対前年比														
	その他														
	対前年比														
海外メーカー合計															
	対前年比														
合計															
	対前年比														

サンプルページ

「分析編」と「感光体市場編」より抜粋

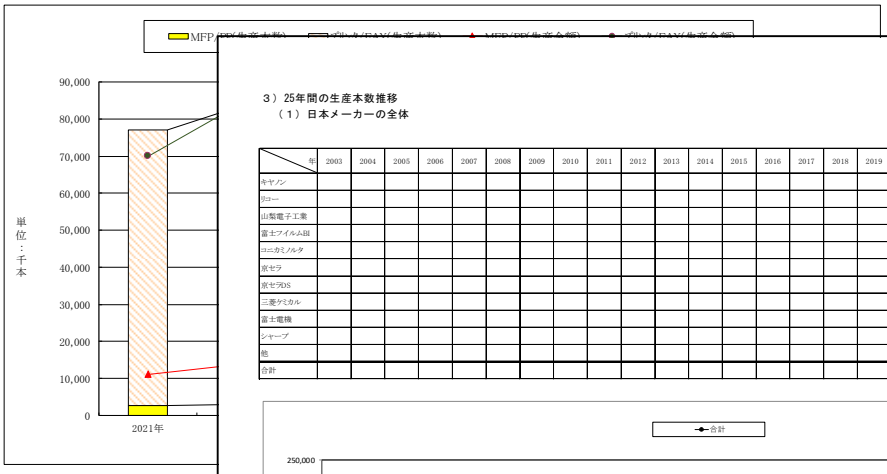
※実際のレポートには実数やコメントが入っています。

［３］HG Technologies（中国）

１．全体状況

１）生産本数／生産金額の推移（2021年～2027年）

用途＼年		2021年	%	2022年	%	2023年	%	2024年(見込)	%	2025年(予測)	%	2026年(予測)	%	2027年(予測)	%
生産本数（千本）	MFP/PP														
	対前年比(%)														
	ﾌﾟﾘﾝﾀ/FAX														
	対前年比(%)														
	合計														
	対前年比(%)														
生産金額（百万円）	MFP/PP														
	対前年比(%)														
	ﾌﾟﾘﾝﾀ/FAX														
	対前年比(%)														
	合計														
	対前年比(%)														



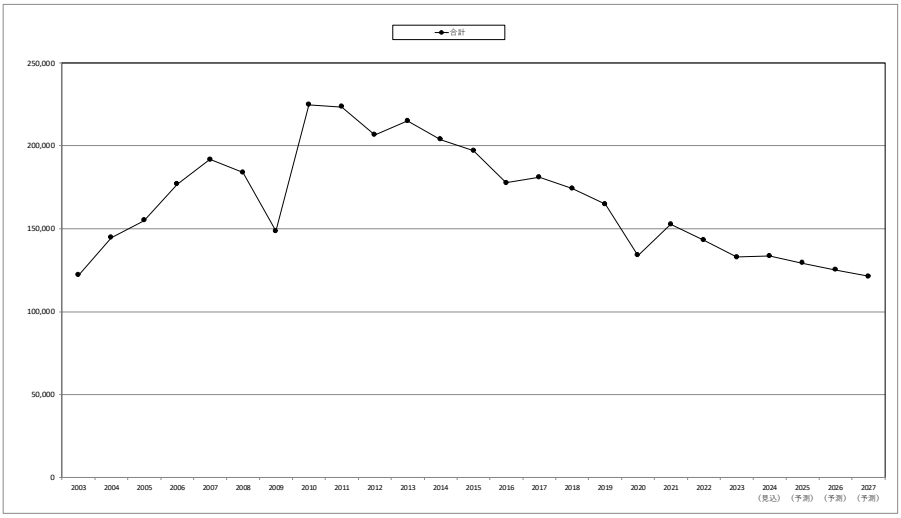
HG Technologiesの2023年にお
2024年以降は生産量、金額ともに
同社は国有系企業の信頼性とそ
おり、今のところ減速する兆しはみ
その影響を受けることは避けられな

３）25年間の生産本数推移

（１）日本メーカーの全体

単位：千本

年	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024（見込）	2025（予測）	2026（予測）	2027（予測）
キヤノン																									
リコー																									
山梨電子工業																									
富士フイルム印																									
コニカミノルタ																									
京セラ																									
京セラDS																									
三菱ケミカル																									
富士電機																									
シャープ																									
他																									
合計																									



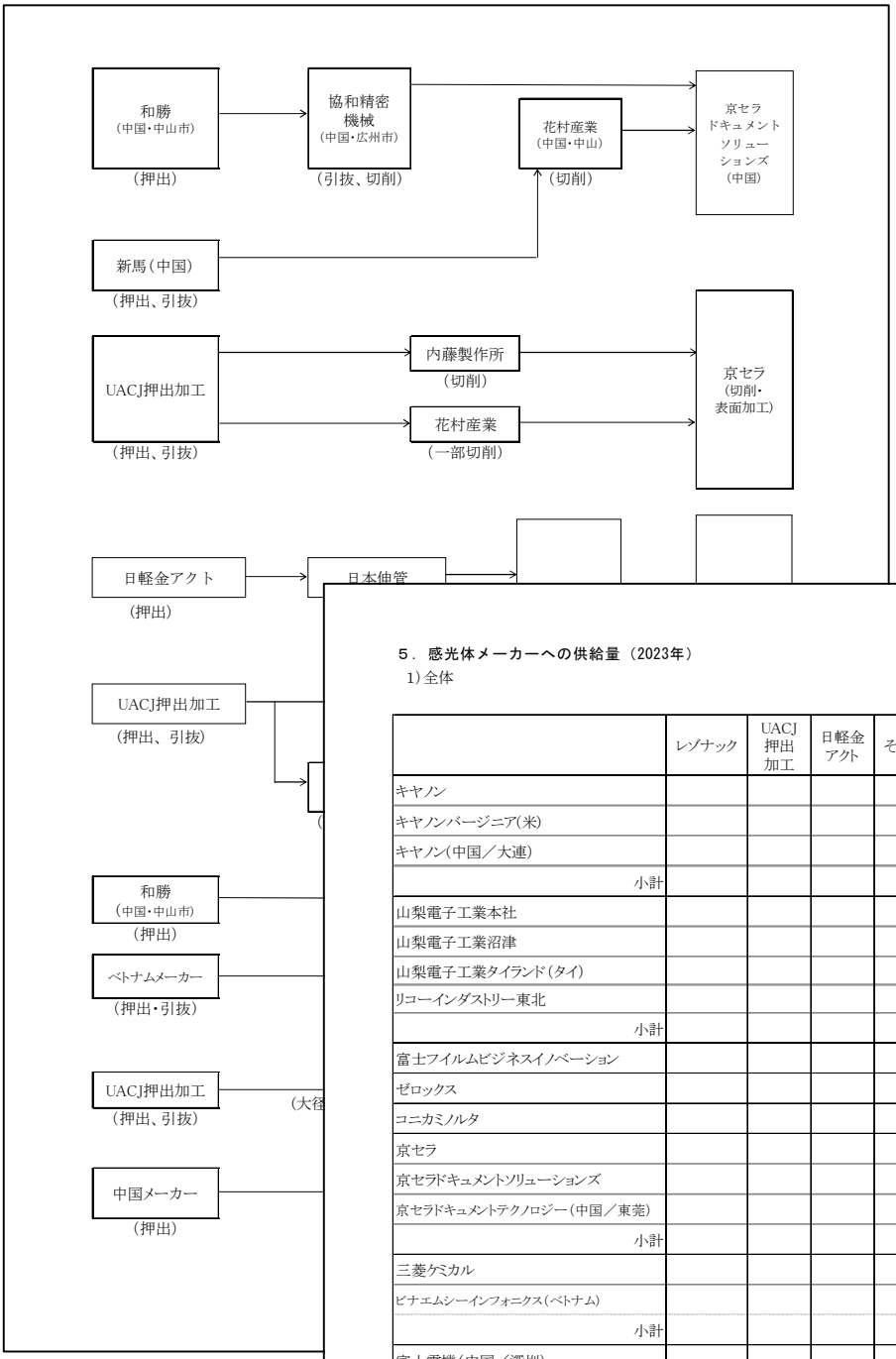
注）山梨電子工業は2007年からリコーに合算。

日本メーカーの感光体生産量は2010年に約2億2,500万本のピークを迎え、その後の10年間で需要は急減し、足元では1億5千万本を割り込むまで減少している。先進国オフィスにおいてMFPへのプリントの集約が進みプリンタ用感光体の需要が大幅に減少したこと、新興国市場では中国を中心とするサードパーティメーカーの超低価格製品にその需要を奪われたことなどが大幅減の要因である。

サンプルページ

「感光体素管市場編」より抜粋

※実際のレポートには実数やコメントが入っています。



５．感光体メーカーへの供給量（2023年）

1）全体

（千本）

	レゾナック	UACJ押出加工	日軽金アクト	その他	小計	中国メーカー・その他	合計
キヤノン							
キヤノンバージニア(米)							
キヤノン(中国／大連)							
小計							
山梨電子工業本社							
山梨電子工業沼津							
山梨電子工業タイランド(タイ)							
リコーインダストリー東北							
小計							
富士フイルムビジネスイノベーション							
ゼロックス							
コニカミノルタ							
京セラ							
京セラドキュメントソリューションズ							
京セラドキュメントテクノロジー（中国／東莞）							
小計							
三菱ケミカル							
ビナエムシーインフォニクス(ベトナム)							
小計							
富士電機（中国／深圳）							
シャープ							
合計							

サンプルページ

「塗布材料市場編」と「感光体別直径別機種一覧」より抜粋

DATA SUPPLY INC.

※実際のレポートには実数やコメントが入っています。

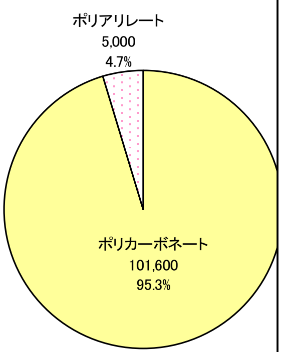
２．ＣＴＬ（Charge Transport Layer：電荷輸送層）

２－１．バインダー樹脂

１）全世界の市場（2021年～2025年）

単位:kg

	2021年		2022年		2023年		2024年（見込）		2025年（予測）	
		%		%		%		%		%
三菱ガス化学										
対前年比										
帝人										
対前年比										
出光興産										
対前年比										
三菱ケミカル										
対前年比										
その他										
対前年比										
ポリカーボネート合計										
対前年比										
ユニチカ										
対前年比										
ポリアリレート合計										
対前年比										
合計										
対前年比										



＜材料比率（2023年）＞

（１）全体概要

ポリカーボネート（PC）とポ

採用されている。2023年の出荷

トン（全体の95.3%）、PAR：5

メーカー別では三菱ガス化学

耐久製品をラインアップする出

めており、中国メーカー向けで

２．レーザー／ＬＥＤプリンタの感光体別機種一覧（２０２０年～２０２４年）

１）キヤノン

感光体	機種名	発売年	月	価格（万円）	出力ｻｲｽﾞ	ｽﾋﾟｰﾄﾞ(cpm)ｶﾗｰ(A4)	ｽﾋﾟｰﾄﾞ(cpm)ﾓﾉｸﾛ(A4)	解像度(dpi)	ﾄﾅｰ製法	ﾄﾅｰ成分	感光体直径(mmφ)	感光体耐刷(千枚)	感光体極性	寸法 WxDxH(mm)	重量(kg)	備考
OPCﾄﾞ	Satera MF269dw/MF266dn/MF265dw/MF264dw/MF262dw	2020	06	ｵｰﾌﾟﾝ価格	A4	－	28	600×600	懸濁重合	1	24	3	⊖	MF262dw:390×405×327 MF262dw以外:390×405×375	269dw:約13.8、262dw:約11.3 266dn/265dw/264dw:約12.9	2016年9月発売の「Satera MF249dw/MF245dw/MF236n/MF244dw/MF242dw」(42,800円/33,800円/29,800円/23,800円/19,800円、23～27ppm)の後継機。新方式のｶｰﾄﾘｯｼﾞ搭載。
OPCﾄﾞ	PlotWave 3000 Printerモデル	2020	12	164.00	A0	－	2.3(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,563×803×1,503	220.0	旧オセのｴﾝｼﾞﾝを搭載。2016年5月発売の「同345」の後継機。
OPCﾄﾞ	PlotWave 3000 MFPモデル	2020	12	224.00	A0	－	2.3(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,563×803×1,503	220.0	旧オセのｴﾝｼﾞﾝを搭載。2016年5月発売の「同345」の後継機。
OPCﾄﾞ	PlotWave 3500 Printerモデル	2020	12	184.00	A0	－	3.1(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,563×803×1,503	220.0	旧オセのｴﾝｼﾞﾝを搭載。2016年5月発売の「同365」の後継機。
OPCﾄﾞ	PlotWave 3500 MFP	2020	12	244.00	A0	－	3.1(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,563×803×1,503	220.0	旧オセのｴﾝｼﾞﾝを搭載。2016年5月発売の「同365」の後継機。
OPCﾄﾞ	PlotWave 7500 Printerモデル 4ロール1カセット仕様/6ロール1カセット仕様	2020	12	560.00/620.00	A0	－	5(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,563×803×1,695	286.0	旧オセのｴﾝｼﾞﾝを搭載。2016年5月発売の「同550」の後継機。
OPCﾄﾞ	PlotWave 7500 MFP 4ロール1カセット仕様/6ロール1カセット仕様	2020	12	600.00/660.00	A0	－	5(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,563×803×1,695	286.0	旧オセのｴﾝｼﾞﾝを搭載。2016年5月発売の「同550」の後継機。
OPCﾄﾞ	PlotWave 5500 Printerモデル 2ロール1カセット仕様/4ロール1カセット仕様	2021	09	500.00/540.00	A0	－	5(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,560×803×1,515	2ロールﾓﾃﾞﾙ:234.0	PlotWave 450/550ｼﾘｰｽﾞの後継機種。製造業や建築業で必要な高精細図面の高精度プリント需要に対応した製品。
OPCﾄﾞ	PlotWave 5500 MFPモデル 2ロール1カセット仕様/4ロール1カセット仕様	2021	09	560.00/600.00	A0	－	5(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,560×803×1,515		PlotWave 450/550ｼﾘｰｽﾞの後継機種。製造業や建築業で必要な高精細図面の高精度プリント需要に対応した製品。
OPCﾄﾞ	PlotWave 5000 Printerモデル 2ロール1カセット仕様/4ロール1カセット仕様	2021	09	400.00/440.00	A0	－	4(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,560×803×1,515	2ロールﾓﾃﾞﾙ:234.0	PlotWave 450/550ｼﾘｰｽﾞの後継機種。製造業や建築業で必要な高精細図面の高精度プリント需要に対応した製品。
OPCﾄﾞ	PlotWave 5000 MFPモデル 2ロール1カセット仕様/4ロール1カセット仕様	2021	09	460.00/500.00	A0	－	4(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,560×803×1,515		PlotWave 450/550ｼﾘｰｽﾞの後継機種。製造業や建築業で必要な高精細図面の高精度プリント需要に対応した製品。
OPCﾄﾞ	Satera LBP961Ci	2021	12	ｵｰﾌﾟﾝ価格（実勢価格498,000円）	A3	60	60	2,400相当	粉砕	2	30	黒:408 ｶﾗｰ:363	⊖	620×718×806	約88.0	2015年5月発売の「同LBP9950Ci」(46.8万円、ｶﾗｰ51・ﾓﾉｸﾛ55ppm)の後継機。
OPCﾄﾞ	Satera LBP722Ci	2021	12	ｵｰﾌﾟﾝ価格（実勢価格158,000円）	A4	38	38	9,600相当	懸濁重合	非1	20	10～14	⊖	458×464×388	約25.0	2016年7月発売の「同LBP712Ci」(14.8万円、ｶﾗｰ・ﾓﾉｸﾛとも38ppm)の後継機。
OPCﾄﾞ	Satera MF832Cdw	2021	12	ｵｰﾌﾟﾝ価格（実勢価格188,000円）	A4	38	38	9,600相当	懸濁重合	非1	20	10～14	⊖	500×556×640	約37.0	Sateraｼﾘｰｽﾞとしては、初の30ppm台A4ｶﾗｰMFP。MidﾊｲﾚﾝｼﾞのA4主力及びA3機のｻﾌﾞﾏｼﾝとして位置付けられる。
OPCﾄﾞ	Satera MF656Cdw/Satera MF654Cdw	2021	12	ｵｰﾌﾟﾝ価格（実勢価格62,800円/57,800円）	A4	21	21	9,600相当	懸濁重合	非1	20	2～3	⊖	451×460×413	約20.5	2019年5月発売の「同MF644 Cdw /642Cdw」(5.98/5.48万円、ｶﾗｰ・ﾓﾉｸﾛとも21ppm)の後継機。
OPCﾄﾞ	Satera MF551dw	2021	12	ｵｰﾌﾟﾝ価格（実勢価格94,800円）	A4	－	43	2,400相当	懸濁重合	1	24	10～20	⊖	494×464×452	約19.0	2019年12月発売の「同MF541dw」(ｵｰﾌﾟﾝ、43ppm)の後継機。
OPCﾄﾞ	Satera MF457dw	2021	12	ｵｰﾌﾟﾝ価格（実勢価格62,800円）	A4	－	38	2,400相当	懸濁重合	1	24	10～20	⊖	453×464×392	約16.2	2019年12月発売の「同MF447dw」(ｵｰﾌﾟﾝ、38ppm)の後継機。
OPCﾄﾞ	imageCLASS MF3010/MF3010 VP	2022	05	$99.00/$149.00	A4	－	19	600×600	懸濁重合	1	24	3	⊖	373×277×254	7.6	「imageCLASS MF3010」は2011年8月に発売後に一旦生産を終了し、旧ﾓﾃﾞﾙ名のまま新製品として生産・販売を再開。大手量販店のｳｫﾙﾏｰﾄのみで購入できる「MF3010」とｷｬﾉﾝｵﾝﾗｲﾝｼｮｯﾌﾟで購入でき、追加ﾄﾅｰ同梱の「MF3010VP」の2ﾓﾃﾞﾙ。
OPCﾄﾞ	imageCLASS MF452dw/MF451dw	2022	05/04	$329.00/$299.00	A4	－	33	600×600	懸濁重合	1	24	3～20	⊖	453×464×392	16.2	全ｼﾘｰｽﾞ5インチのカラータッチスクリーンが内蔵されている他、Wi-Fi印刷機能を備えﾓﾊﾞｲﾙ印刷にも対応。
OPCﾄﾞ	Satera MF7625F	2022	10	ｵｰﾌﾟﾝ価格（前任機の価格:790,000円）	A3	－	25	600×600	粉砕	2	30	88	⊖	565×693×852	約52.0	2019年12月に発売の「Satera MF7525F」(790,000円、25ppm)の後継機。
OPCﾄﾞ	Satera LBP674C/LBP672C/LBP671C	2022	11	ｵｰﾌﾟﾝ価格	A4	33	33	9,600相当	懸濁重合	非1	20	1.9～7.6	⊖	425×427×334/425×427×300/425×427×300	約16.1/約15.5/約15.5	2019年5月に発売の「Satera LBP664C/662C/661C」(9.8/8.28/6.18万円、C・Mとも27ppm)の後継機。
OPCﾄﾞ	Satera MF755Cdw/MF753Cdw/MF751Cdw	2022	11	ｵｰﾌﾟﾝ価格	A4	33	33	600×600	懸濁重合	非1	20	1.9～7.6	⊖	425×460×430	約21.7	2019年発売の「Satera MF745Cdw/743Cdw/741Cdw」(9.48/7.68/7.18万円、C・Mとも27ppm)の後継機。MF751Cdwはｲﾝﾀｰﾈｯﾄ FAXのみ。
OPCﾄﾞ	Satera LBP362i	2022	12	ｵｰﾌﾟﾝ価格	A4	－	71	2,400相当	粉砕	1	24	27～42	⊖	430×465×370	約20.0	ｼﾘｰｽﾞでは最速となる高速A4ﾌﾟﾘﾝﾀ。ﾌﾗｯｸﾞｼｯﾌﾟﾓﾃﾞﾙ。
OPCﾄﾞ	Satera LBP361i	2022	12	ｵｰﾌﾟﾝ価格	A4	－	61	2,400相当	粉砕	1	24	27～42	⊖	430×465×370	約20.0	ｼﾘｰｽﾞでは最速となる高速A4ﾌﾟﾘﾝﾀ。
OPCﾄﾞ	Satera MF269dw II/MF266dn II/MF265dw II	2022	12	ｵｰﾌﾟﾝ価格	A4	－	28	600×600	懸濁重合	1	24	3	⊖	390×405×375	約13.8/約11.9/約11.9	2020年6月発売「Satera MF269dw/MF266dn/MF265dw」(28ppm)の後継機。
OPCﾄﾞ	Satera LBP863Ci	2023	05	ｵｰﾌﾟﾝ価格	A3	46	46	9,600相当	懸濁重合	非1	30	7	⊖	556×585×403	約38.0	2019年5月発売の「Satera LBP853Ci」(31.8万円、C・Mとも46ppm)の後継機。
OPCﾄﾞ	Satera LBP862Ci/LBP861C	2023	05	ｵｰﾌﾟﾝ価格	A3	36	36	9,600相当	懸濁重合	非1	30	7	⊖	556×585×403	約38.0	2019年5月発売の「Satera LBP852Ci/851C」(21.8/16.8万円、C・Mとも36ppm)の後継機。
OPCﾄﾞ	Satera LBP453i	2023	05	ｵｰﾌﾟﾝ価格	A3	－	43	2,400相当	粉砕	1	30	11～22	⊖	484×527×297	約25.5	2017年4月発売の「Satera LBP443i」(14.8万円、43ppm)の後継機。
OPCﾄﾞ	Satera LBP452	2023	05	ｵｰﾌﾟﾝ価格	A3	－	40	2,400相当	粉砕	1	30	11～22	⊖	484×527×297	約25.5	2017年4月発売の「Satera LBP442」(12.8万円、38ppm)の後継機。

株式会社データ･サプライ刊行物案内／申込書

住所：〒１１０－０００５　東京都台東区上野６－６－１　舩来堂ビル５Ｆ
ＴＥＬ：０３（３８３１）９２０１、ＦＡＸ：０３（３８３１）９２０４
E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp
ホームページ：http//:www.datasupply.jp/

● 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。

● 申込はメール、ＦＡＸ、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日　　2024 年　　月　　日

御社名

御住所　〒

御電話番号

御担当部署　　御担当者

※セット価格は日本語版+英語版

	①日本語版		②英語版		セット ①+②	部数	金額
	価格（税別）	刊行日	価格（税別）	刊行日	価格（税別）		
《定期刊行物》							
＊「月刊電子写真総合情報」 －電子写真に関する総合的なレポート－ （1986 年～） 年間 1,200～1,300 頁	年会費: ¥700,000（PDF 版） 月会費: ¥60,000（PDF 版）	毎月 20 日	$7,000（PDF 版） $600（PDF 版）	毎月末	¥800,000		
i4inkjet　[Directions]（年 6 回発行、年 300 頁～） ※インクジェット関連の特許技術レポート	－	－	¥550,000～（PDF 版）	2021 年 7/27～			
《２０２４年刊行予定物》							
＊2024 年版[感光体マーケット総覧]（263 頁） 『業界変革・再編時代における感光体市場の総合分析』	¥500,000（PDF 版）	2/26	$5,200（PDF 版）	4/15	¥700,000	日 英	
＊2024 年版[ローラー系部品マーケット総覧] 『市場成熟に向き合う部品業界の最新動向』	¥400,000（PDF 版）	4/25 予定	$5,000（PDF 版）	6/7 予定	¥700,000	日 英	
《２０２３年刊行物》							
＊2023 年版[感光体マーケット総覧]（272 頁） 『変化の時代に真価が問われる感光体市場の総合分析』	¥500,000（PDF 版）	2/22	$5,200（PDF 版）	4/21	¥700,000	日 英	
＊2023 年版[ローラー系部品マーケット総覧]（385 頁） 『価格上昇時代に突入した部品業界の総合分析』	¥400,000（PDF 版）	4/25	$5,000（PDF 版）	注文対応		日 英	
＊2023 年版[トナーマーケット総覧]（587 頁） 『環境配慮技術で生き残るトナー業界の将来性分析』	¥600,000（PDF 版）	6/27	$6,000（PDF 版）	7/28	¥700,000	日 英	
＊2023 年版[中国市場（ハードウェア・消耗品）]（222 頁） 『中国企業の台頭により競争が激化する中国市場の徹底分析』	¥300,000（PDF 版）	8/29	－	－			
＊2023 年版[インクジェット印刷マーケット総覧] 『ものづくりのスマート化を切り拓く インクジェット業界の最新市場動向』（389 頁）	¥500,000（PDF 版）	10/27	$5,000（PDF 版）	12/8	¥700,000	日 英	
＊2023 年版[MFP マーケット総覧] 『変革期を迎えたプリンティング業界の将来性分析』 <標準版（メーカー別総合分析版）>（674 頁） <標準版>+<長期予測特別版>（753 頁）	¥600,000/¥700,000（PDF 版）	標準版：12/22 長期予測特別版：12/26	－	－			
《その他の刊行物》							
＊2020 年版[MIF マーケット総覧]（501 頁） 『オフィス向け電子写真製品の設置台数とトナー量に関する長期予測』	¥400,000	2020 年 9/28	$4,000（PDF 版）	2020 年 12/23		日 英	
＊2020 年版[緊急レポート （コロナショックと業界大規模再編）]（240 頁） 『業界再編とコロナショックに揺れる 事務機業界の地域別メーカー別分析』	¥300,000	2020 年 4/24	$3,000（PDF 版）	2020 年 6/19		日 英	
＊2014 年版[企業便覧シリーズ]（128 頁） 『中国の機能性部品ローカル企業 100 社便覧』	¥150,000	2014 年 9/29	$1,500（PDF 版）	2014 年 10/31		日 英	